

SAGA建設技術フェア2024

開催報告書



本報告書は、令和6年6月12日（水）～13日（木）にかけてSAGAプラザ（総合体育館）で開催した「SAGA建設技術フェア2024」の実施内容およびアンケート調査結果等についてとりまとめたものです。

令和6年10月

公益財団法人佐賀県建設技術支援機構

目次

1. フェアの概要	1
2. 出展者	2
2.1 出展者一覧表 (59 団体)	2
2.2 会場配置	3
2.3 会場の様子	4
3. 来場者	5
3.1 来場者数	5
4. 実施内容	6
4.1 ポスター及びチラシ	6
4.2 開催プログラム	7
4.3 開会式	9
4.4 特別講演	10
4.5 技術者発表 (1) (2)	11
4.6 技術者発表 (3)	11
4.7 展示技術プレゼンテーション	12
4.8 パネル展示	13
4.9 閉会式	14
4.10 受講証明書の配布	14
5. アンケート結果	15
5.1 来場者アンケート	15
5.2 出展者アンケート	23
6. まとめ	29

1. フェアの概要

主 催	公益財団法人佐賀県建設技術支援機構	
共 催	佐賀県／佐賀大学／一般社団法人佐賀県県土づくりコンサルタント協会／ 一般社団法人佐賀県建設業協会／一般社団法人佐賀県建築士会／特定非営 利活動法人技術交流フォーラム	
後 援	国土交通省九州地方整備局／佐賀県教育委員会／佐賀市／一般社団法人佐 賀県地質調査業協会／佐賀県土木施工管理技士会／一般社団法人佐賀県建 築士事務所協会／低平地研究会／公益社団法人土木学会西部支部／公益社 団法人地盤工学会九州支部／公益社団法人日本技術士会九州本部／一般社 団法人建設コンサルタント協会九州支部／NHK 佐賀放送局／サガテレビ／ 佐賀新聞社／建設新聞社	
日 時	【1日目】 令和6年6月12日（水）10:00～16:00 【2日目】 令和6年6月13日（木）10:00～16:00	
場 所	SAGA プラザ（総合体育館）（佐賀市日の出一丁目21番15号）	
目 的	建設分野（土木・建築）の技術・工法・製品などについて産学官における技 術情報の交流の場を提供し建設分野の技術開発や新技術導入の促進を図る とともに、高校生・大学生を含む一般の方々に建設業界の魅力や社会資本整 備の必要性について理解を深めてもらうことにより、建設産業の発展及び キャリアデザイン教育の推進に寄与することを目的とする。	
テ ー マ	建設技術が創る安全・安心なまちづくり	
内 容	特別講演 技術者発表 学生研究発表 技術展示ブース 展示技術プレゼンテーション パネル展示	
出展テーマ	環境／防災／コスト縮減／維持管理／インフラ DX／佐賀の技術	
来 場 者	総数 2,208名（2日間延べ）	
	【内訳】	
	官公庁	166名
	建設業	902名
	コンサルタント	409名
	製造業・メーカー	212名
	一般・その他	106名
	学生・生徒	413名

2. 出展者

2.1 出展者一覧表（59 団体）

59 の企業・団体からブースを出展していただきました。県内の企業・団体からの出展は 25 ブースでした。

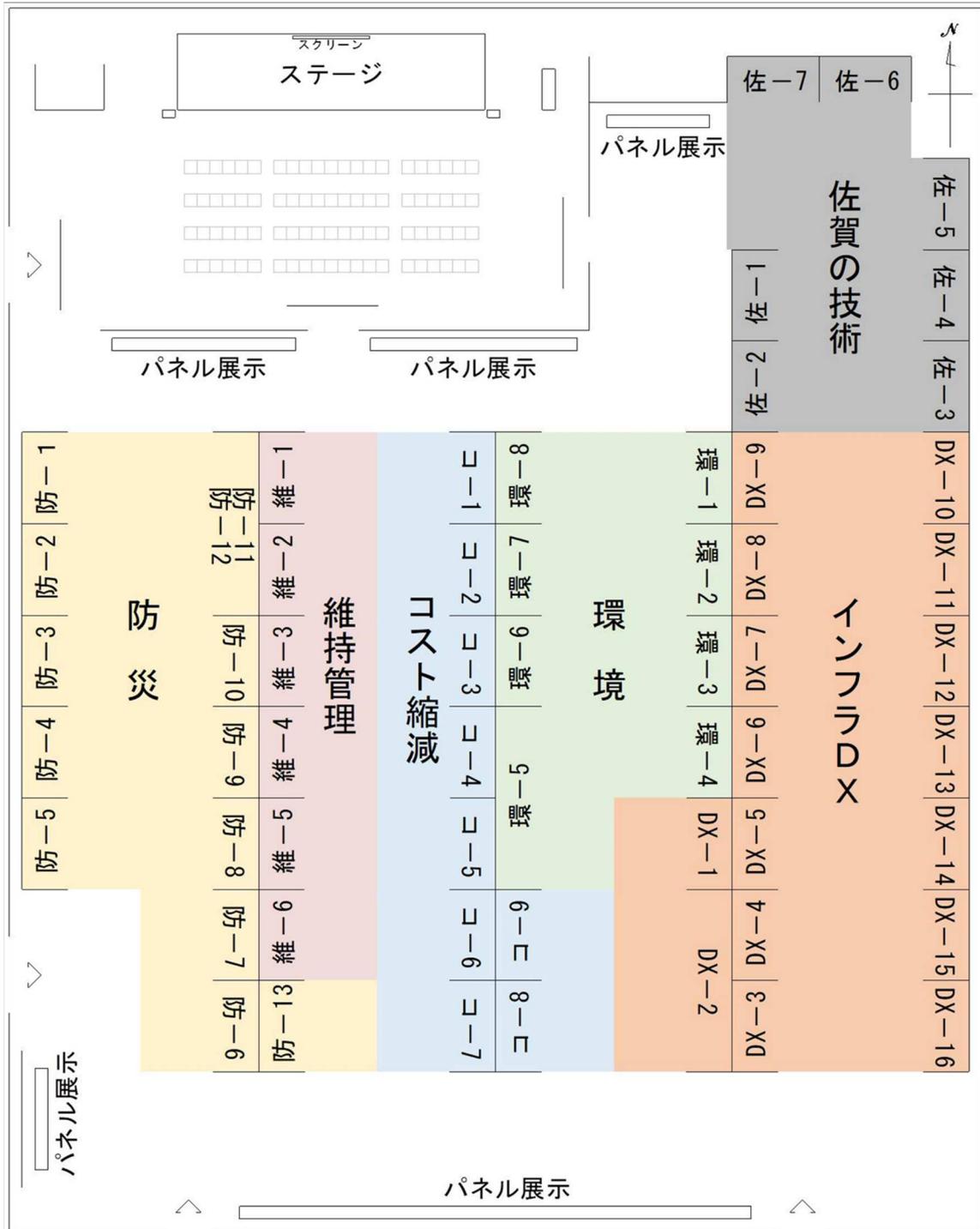
【出展者一覧（59 団体）】

分類	番号	企業 団体名	県内
環 境	環-1	高原本材株式会社	○
	環-2	日本建設技術株式会社	○
	環-3	一般社団法人 有明未利用熱利用促進研究会	○
	環-4	日本乾溜工業株式会社 佐賀支店	○
	環-5	旭化成アドバンス株式会社	
	環-6	日鉄テックスエンジニアリング株式会社	
	環-7	九州S工法協会	
	環-8	宇部工業株式会社	
防 災	防-1	PAN WALL工法協会（矢作建設工業株式会社）	
	防-2	不二コンクリート工業株式会社	○
	防-3	亜細亜防災協会	
	防-4	東亜グラウト工業株式会社 九州支店	
	防-5	西日本技術開発株式会社 佐賀営業所	○
	防-6	株式会社エムオーテック 福岡支店	
	防-7	株式会社仙台銘板	○
	防-8	株式会社プロテックエンジニアリング	
	防-9	松鶴建設株式会社	
	防-10	株式会社トータル環境	
	防-11	九州ベルテックス株式会社	
	防-12	スーパージョイントボックスカルパー 協会	
	防-13	パワーブレンダー工法協会	
コスト削減	コ-1	森田建設株式会社	
	コ-2	株式会社セリタ建設	○
	コ-3	基礎地盤コンサルタンツ株式会社	○
	コ-4	九州D-BOX工法協会	
	コ-5	株式会社建築資料研究社/日建学院 佐賀校	○
	コ-6	協同組合Masters ジオテツ工法研究会	
	コ-7	有明コンクリート工業株式会社	○
	コ-8	日鉄スラグ製品株式会社	
	コ-9	ジャイワット株式会社	
維持管理	維-1	松栄技建株式会社	○
	維-2	佐賀県のリフレッシュ工法協会	○
	維-3	株式会社ハットリ工業	○
	維-4	多機能フィルター株式会社 九州営業所	
	維-5	株式会社富士ビー エス	
	維-6	株式会社太平洋コンサルタント	
佐賀の技術	佐-1	日之出水道機器株式会社	
	佐-2	一般社団法人 佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会	○
	佐-3	フローティング基礎研究会	○
	佐-4	清本鉄工株式会社	○
	佐-5	株式会社名村造船所 鉄構事業部	○
	佐-6	佐賀大学理工学部/理工学研究科 都市基盤工学コース/建築環境デザインコース	○
	佐-7	佐賀県 県土整備部 建設 技術課	○
インフラDX	DX-1	エポコラム協会 九州支部	
	DX-2	国際技術コンサルタント株式会社	○
	DX-3	シマウチエンジニアリング株式会社	○
	DX-4	レフィクシア株式会社	
	DX-5	株式会社ワイビーエム	○
	DX-6	福井コンピュータ株式会社	
	DX-7	精密舎株式会社	○
	DX-8	アイサンテクノロジー株式会社	
	DX-9	簡井測量設計株式会社	○
	DX-10	村本建設株式会社	
	DX-11	株式会社熊谷組	
	DX-12	株式会社テクノックス九州	
	DX-13	大成ロテック株式会社 九州支社	
	DX-14	システムメトリックス株式会社	
	DX-15	株式会社オプティム	
	DX-16	錦城護謨株式会社	

2.2 会場配置

1つの会場に『ブース出展エリア』と『ステージエリア』を設けることで、両エリアの行き来を簡単にできるようにしました。また、ブース出展エリアは出展テーマごとに配置することで、テーマに関する技術や工法の情報収集をしやすくしました。

【会場配置図】



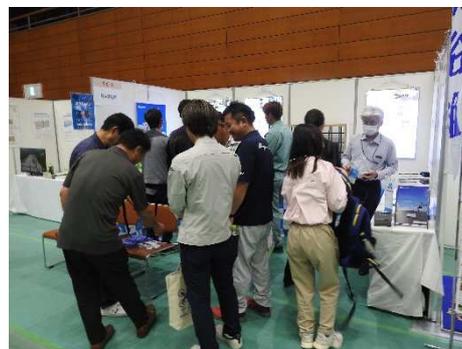
2.3 会場の様子



【 全 景 】



【 受 付 】



【 出展ブース 】



【 講演・発表 】

3. 来場者

3.1 来場者数

2日間で総計2,208名の方にご来場いただきました。建設（土木・建築）の来場者が最も多く、次いで学生（大学生・高校生）が多い結果となりました。

受付での混雑緩和のため、WEBによる事前申込みをお願いしました。

【来場者集計表】

(単位：人)

来場者 \ 日時	6/12(水)	6/13(木)	小計
官公庁・団体職員	87	79	166
建設(土木・建築)	492	410	902
設計・調査・コンサルタント	204	205	409
製造業・メーカー	112	100	212
一般・その他	59	47	106
学生(高校生・大学生)	211	202	413
合計	1165	1043	2208

4. 実施内容

4.1 ポスター及びチラシ

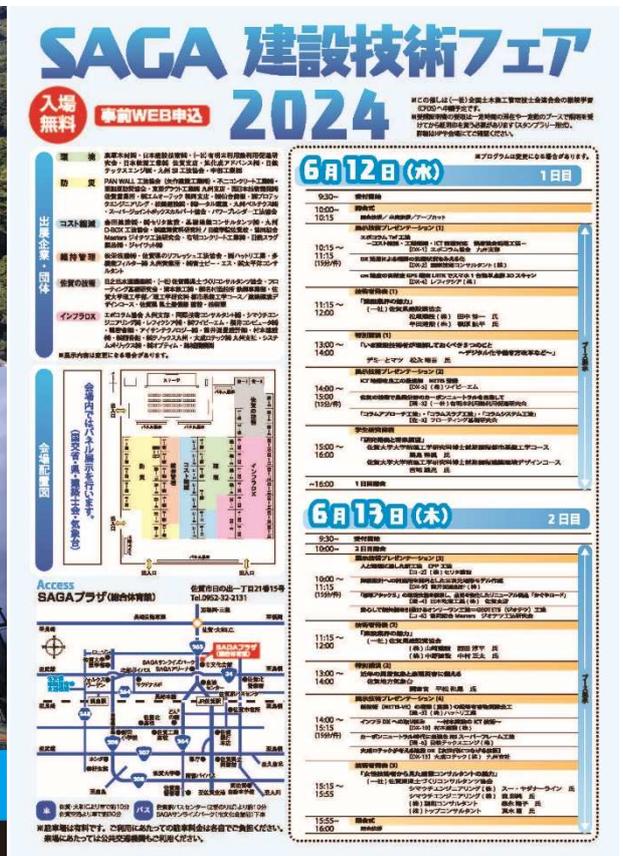
フェアの開催を広く周知するため、ポスターおよびチラシを作成し、県市町や関係団体等に配布しました。

【ポスター及びチラシ】

(ポスター／チラシ表)



(チラシ裏)



4.2 開催プログラム

1日目は開会式、特別講演、技術者発表、学生研究発表、展示技術プレゼンテーション6件、2日目は特別講演、技術者発表、展示技術プレゼンテーション8件、閉会式を行いました。

SAGA建設技術フェア2024 プログラム

6月12日(水)【1日目】

9:30～	受付開始	
10:00～	開会式	10:15 ～
10:15	開会挨拶／来賓挨拶／テープカット	
10:15～ 11:15 (15分/件)	展示技術プレゼンテーション(1)	↑ ↓ ブ ー ス 展 示
	エポコラムTaf工法 ーコスト縮減・工期短縮・ICT技術対応 深層混合処理工法ー 【DX-1】エポコラム協会 九州支部	
	DX活用による橋脚の洗堀状況をみえる化 【DX-2】国際技術コンサルタント(株)	
cm精度の高精度GPS端末LRTKでスマホ1台簡単点群3Dスキャン 【DX-4】レフィクシア(株)		
技術者発表(1)		
11:15～ 12:00	「建設業界の魅力」 (一社)佐賀県建設業協会 松尾建設(株) 田中 惇一 氏 牟田建設(株) 篠原 航平 氏	
特別講演(1)		
13:00～ 14:00	「いま建設技術者が理解しておくべき5つのこと ～デジタル化や働き方改革など～」 デミーとマツ 松永 昭吾 氏	
展示技術プレゼンテーション(2)		
14:00～ 15:00 (15分/件)	ICT地盤改良工の最適解 NETIS登録 【DX-5】(株)ワイビーエム	
	佐賀の技術で農業分野のカーボンニュートラルを目指して 【環-3】(一社)有明未利用熱利用促進研究会	
	「コラムアプローチ工法」・「コラムスラブ工法」・「コラムシステム工法」 【佐-3】フローティング基礎研究会	
学生研究発表		
15:00～ 16:00	「研究発表と将来展望」 佐賀大学大学院理工学研究科博士前期課程都市基盤工学コース 栗島 藍楓 氏 佐賀大学大学院理工学研究科博士前期課程建築環境デザインコース 吉地 雄亮 氏	
～16:00	1日目閉会	

6月13日(木)【2日目】

9:30～	受付開始	10:00 ～ ↑ プ ー ス 展 示 ↓
10:00～	2日目開会	
10:00～ 11:15 (15分/件)	展示技術プレゼンテーション(3)	
	人と環境に適した新工法 CPP工法 【コ-2】(株)セリタ建設	
	詳細設計への利活用を目的とした三次元地形モデル作成 【DX-9】筒井測量設計(株)	
	「雑草アタックス」の環境性能を継承し、品質を強化したリニューアル製品 「かぐやロード」 【環-4】日本乾溜工業(株) 佐賀支店	
	安心して鋼矢板を引抜けるオンリーワン工法=GEOTETS(ジオテツ)工法 【コ-6】協同組合Masters ジオテツ工法研究会	
	技術者発表(2)	
11:15～ 12:00	「建設業界の魅力」 (一社)佐賀県建設業協会 (株)山崎建設 西田 淳平 氏 (株)中野建設 中村 正太 氏	
	特別講演(2)	
13:00～ 14:00	近年の異常気象と豪雨災害に備える 佐賀地方气象台 調査官 平松 和馬 氏	
	展示技術プレゼンテーション(4)	
14:00～ 15:15 (15分/件)	循環式ハイブリッドプラストシステム工法(NETIS-VE)とSSG工法(NETIS-A) 【維-3】(株)ハットリ工業	
	インフラDXへの取り組み ～村本建設のICT技術～ 【DX-10】村本建設(株)	
	カーボンニュートラル時代に最適なNSスーパーフレーム工法 【環-6】日鉄テックスエンジ(株)	
	大成ロテックが考える建設DX【次世代につなげる技術】 【DX-13】大成ロテック(株) 九州支社	
	技術者発表(3)	
15:15～ 15:55	「女性技術者から見た建設コンサルタントの魅力」 (一社)佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会 シマウチエンジニアリング(株) スー・ヤダナーライン 氏 シマウチエンジニアリング(株) 森 彩純 氏 (株)親和コンサルタント 森永 翔子 氏 (株)トップコンサルタント 真木 恵 氏	
15:55～ 16:00	閉会式 閉会挨拶	

4.3 開会式

ステージにて開会式を執り行いました。共催や後援の皆様方にご列席いただき、主催者挨拶、来賓挨拶、テープカットが行われました。

【主催者挨拶(支援機構 王丸理事長)】



【来賓挨拶(佐賀国道事務所長 大榎 謙 氏)】



【来賓・共催者によるテープカット】



(テープカット写真 左から)

一般社団法人 佐賀県建築士会
一般社団法人 佐賀県建設業協会
佐賀県 県土整備部 建設・技術課
公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構
国土交通省 九州地方整備局 佐賀国道事務所
佐賀大学 理工学部 理工学科 都市工学部門
一般社団法人 佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会
特定非営利活動法人 技術交流フォーラム

会 長 小島 啓 氏
専務理事 山崎 日出男 氏
課 長 川崎 文仁 氏
理事長 王丸 義明
所 長 大榎 謙 氏
教 授 日野 剛徳 氏
会 長 詫間 政弘 氏
理事長 小野 龍太 氏

4.4 特別講演

1日目は、

株式会社インフラ・ラボ 代表取締役

デミーとマツ土木学者 マツ博士 松永 昭吾 氏

に「いま建設技術者が理解しておくべき5つのこと～デジタル化や働き方改革など～」と題してご講演いただきました。

2日目は、

佐賀地方気象台 調査官 平松 和馬 氏

に「近年の異常気象と豪雨災害に備える」と題してご講演いただきました。

【土木学者 マツ博士 松永 昭吾 氏による講演の様子】



【佐賀地方気象台 調査官 平松 和馬 氏による講演の様子】



4.5 技術者発表（1）（2）

建設業界での若手の一層の活躍に寄与することを目的として、

1日目は、

牟田建設株式会社 篠原 航平 氏

2日目は、

株式会社山崎建設 西田 淳平 氏

株式会社中野建設 中村 正太 氏

に「建設業界の魅力」と題してご講演いただきました。

【講演の様子】



4.6 技術者発表（3）

建設業界での女性の一層の活躍に寄与することを目的として、

シマウチエンジニアリング株式会社 スー・ヤダナーライン 氏

シマウチエンジニアリング株式会社 森 彩純 氏

株式会社親和コンサルタント 森永 翔子 氏

株式会社トップコンサルタント 真木 恵 氏

に、「女性技術者から見た建設コンサルタントの魅力」と題してご講演いただきました。

【講演の様子】



4.7 展示技術プレゼンテーション

14 のブース出展者による展示技術プレゼンテーションをステージにて行いました。1 出展者あたりの発表時間は 15 分で各技術や製品などについて発表をしていただきました。

【技術発表者一覧表】

分類	企業・団体名	発表内容
環-3	(一社)有明未利用熱利用促進研究会	佐賀の技術で農業分野のカーボンニュートラルを実現します
環-4	日本乾溜工業(株) 佐賀支店	自然由来の素材から生まれた水で固まる竹短繊維入り土系舗装材
環-6	日鉄テックスエンジ(株)	カーボンニュートラル時代に最適なNSスーパーフレーム工法
コ-2	(株)セリタ建設	人と環境に適した新工法 CPP工法
コ-6	協同組合Masters ジオテツ工法研究会	ジオテツ工法は仮設部材のリユースができる特許工法
維-3	(株)ハットリ工業	新技術 (NETIS-VE) の橋梁(塗膜)の鉛等有害物質除去工
DX-1	エポコラム協会 九州支部	エポコラムTaf工法 -コスト縮減、工期短縮、ICT技術-
DX-2	国際技術コンサルタント(株)	建設DX支援サービス
DX-4	レフィクシア(株)	cm精度の高精度GPS端末LRTKでスマホ1台简单点群3Dスキャン
DX-5	(株)ワイビーエム	ICT地盤改良工の最適解 NETIS登録
DX-9	筒井測量設計(株)	三次元モデルを活用したDX推進への取り組み
DX-10	村本建設(株)	インフラDXへの取り組み ~村本建設のICT技術~
DX-13	大成ロテック(株) 九州支社	大成ロテックが考える建設DX【次世代につなげる技術】
佐-3	フローティング基礎研究会	軟弱地盤上の道路工法、沈下・振動対策、トータルコストミニマム

【展示技術プレゼンテーションの様子】



4.8 パネル展示

会場では以下の団体からのご協力によりパネル展示を行いました。

- ・国土交通省 九州地方整備局 武雄河川事務所（高校生が見た土木の世界 写真展）
- ・佐賀県
- ・一般社団法人 佐賀県建築士会
- ・佐賀地方気象台

【パネル展示の様子】



4.9 閉会式

当支援機構の王丸理事長の閉会挨拶で2日間の幕を閉じました。

【閉会挨拶】



【閉会式の様子】



4.10 受講証明書の配布

当フェアは一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会の運営する CPDS（継続学習制度）の学習プログラムとして認定を受けており、希望する来場者に受講証明書を発行しました。

なお、CPDS のユニット数は両日とも 2 ユニットでした。

5. アンケート結果

5.1 来場者アンケート

来場者を対象にアンケート調査を行いました。

(1) 1日目

設問1) 職業

建設業が最も多く来場者のほぼ半数を占め、次いで設計・調査・コンサルタント、学生・生徒となっています。

設問2) フェアの開催はどこで知ったか

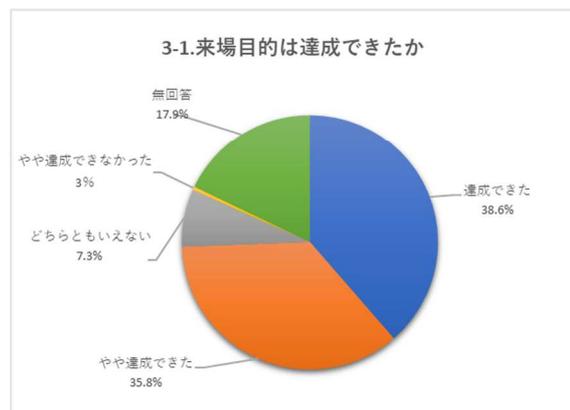
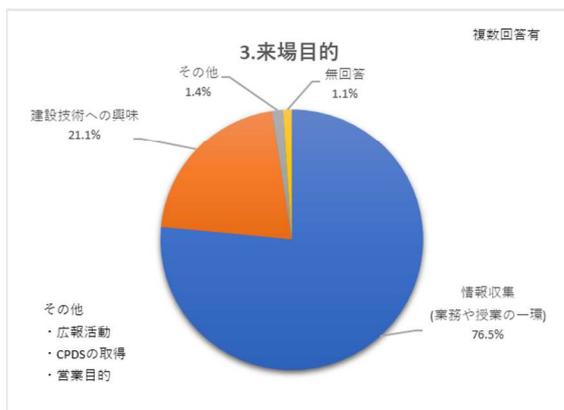
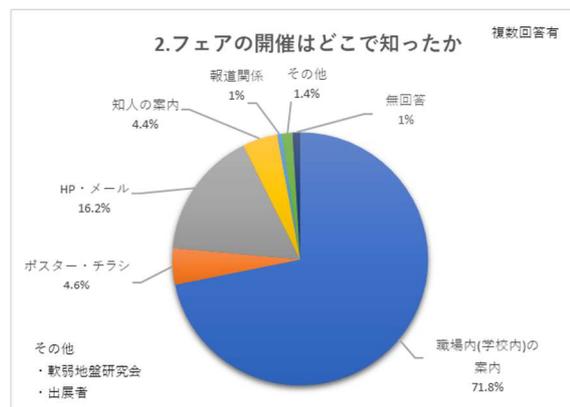
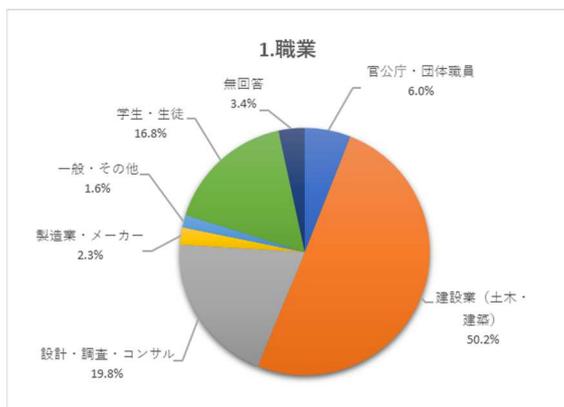
職場内(学校内)からの案内が最も多くなりました。

設問3) 来場目的

情報収集が最も多く約76%、次いで建設技術への興味が21%程度となっています。

設問3-1) 来場目的は達成できたか

達成できたとやや達成できたを合計すると約74%となっています。



設問 4) 毎年の開催を希望するか

希望するという回答は 90%程度となっています。

設問 5) 今回のフェアで印象に残ったプログラム

多くの方は、出展ブースが印象に残ったようです。

設問 6) フェアに関する評価

良い、やや良いという回答は約 84%となっています。

【良い】

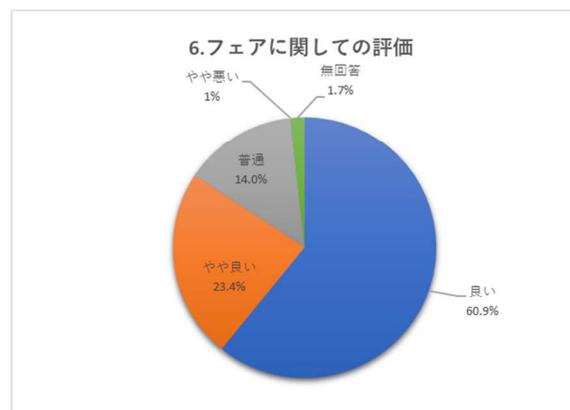
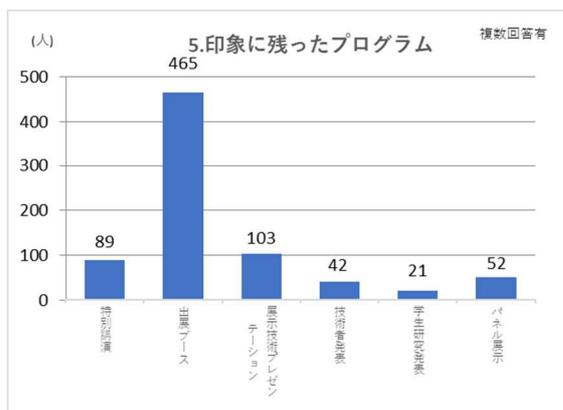
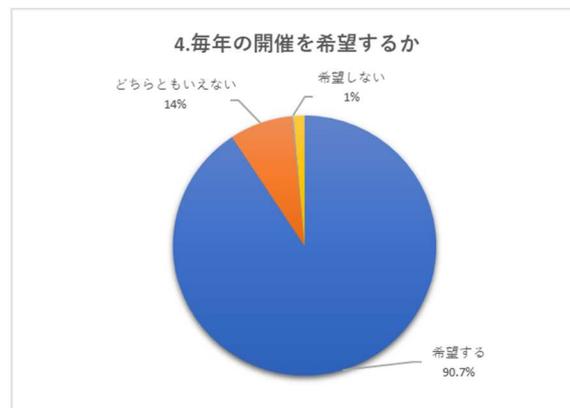
- ・業務で活用が考えられる新たな技術の情報が収集できた
- ・技術関係者が一同に介する機会はないのでこのフェア会場で会えるので便利
- ・テーマ別にブースが区分され、各ブースは色々工夫されて良かった
- ・直接詳しい内容や質問回答も聞くことが出来て良かった
- ・新技術など仕事に活用できる内容だった
- ・ブース企業の開発努力されている様子が素晴らしい
- ・各企業が特有の建築システムや建設技術をわかりやすく説明していたため

【やや良い】

- ・時間がなくさっと回ったが、若い高校生も混在するいい雰囲気で賑わっていた
- ・各社バラエティーに富んでいて勉強になる
- ・講演が興味深かった

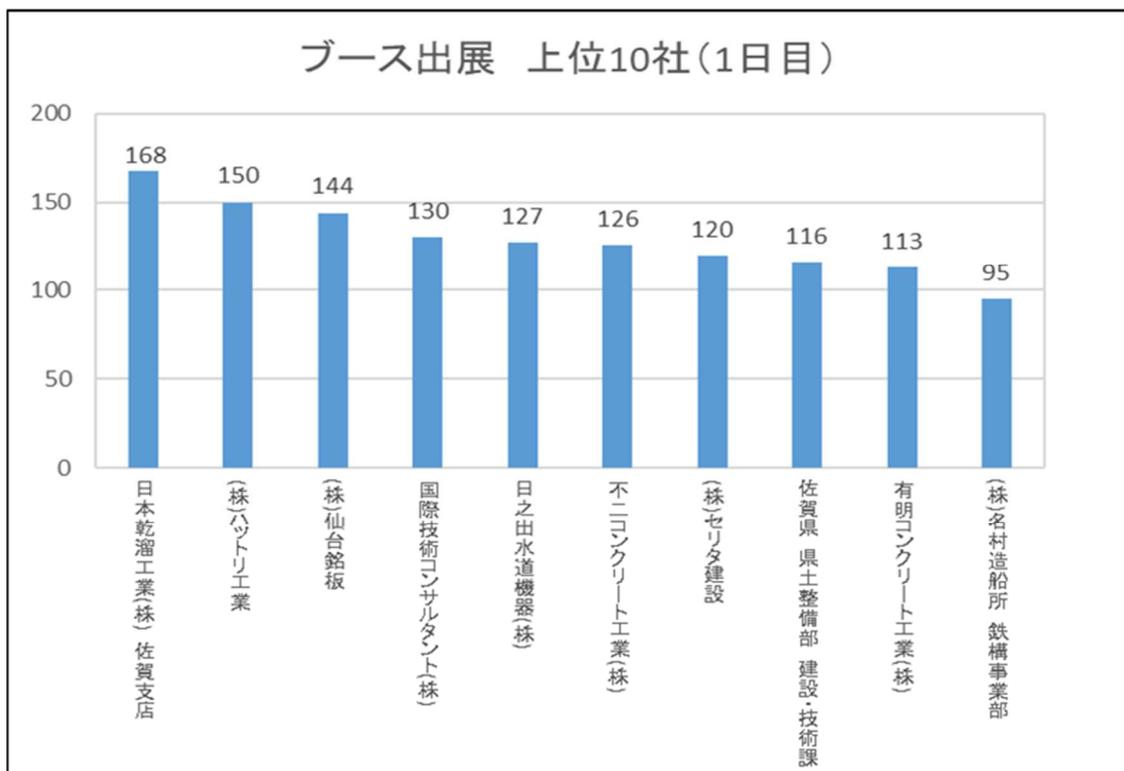
【普通】

- ・ブース出展が例年とあまり変化なし
- ・もっとブースがあると良い
- ・バックオフィスの分野があれば
- ・規模が小さくなった感がある



【出展ブース確認押印欄の上位 10 社（1 日目）】

アンケート用紙に設けた出展ブース確認押印欄を集計したところ、上位 10 社はグラフのとおりであり、環境に関する技術の日本乾溜工業（株）佐賀支店が最も多く、次いで維持管理に関する技術の（株）ハットリ工業となっています。



(2) 2日目

設問 1) 職業

建設業が最も多く来場者のほぼ半数を占め、次いで学生・生徒、設計・調査・コンサルタントとなっています。

設問 2) フェアの開催はどこで知ったか

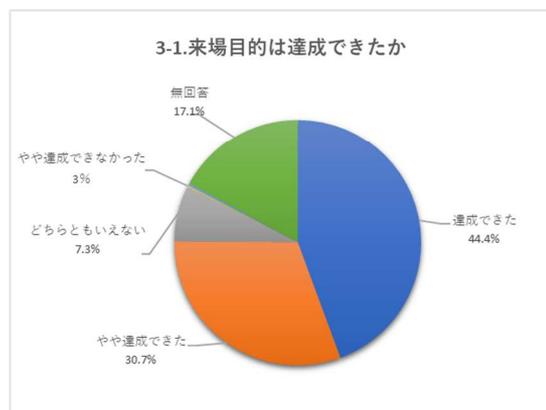
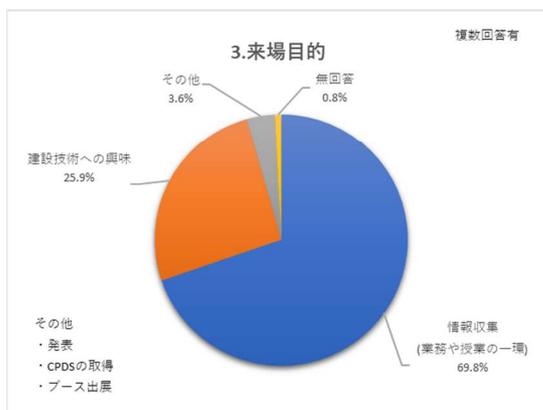
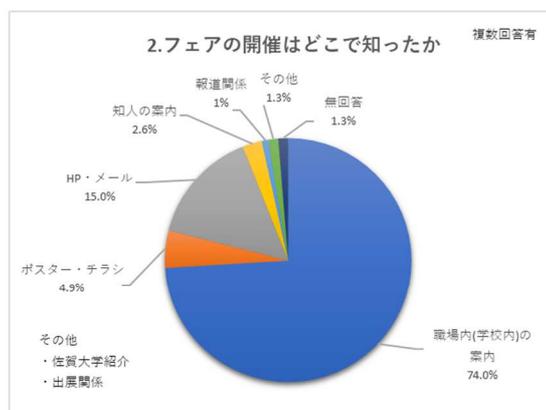
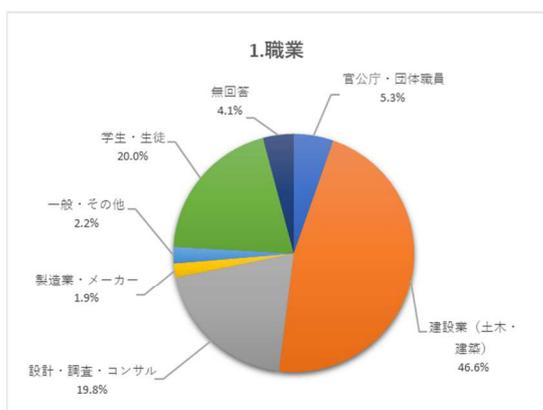
職場内(学校内)からの案内が最も多くなりました。

設問 3) 来場目的

情報収集が最も多く約70%、次いで建設技術への興味が26%程度となっています。

設問 3-1) 来場目的は達成できたか

達成できたとやや達成できたを合計すると約75%となっています。



設問 4) 毎年の開催を希望するか

希望するという回答は90%程度となっています。

設問 5) 今回のフェアで印象に残ったプログラム

多くの方は、出展ブースが印象に残ったようです。

設問 6) フェアに関する評価

良い、やや良いという回答は約90%となっています。

【良い】

- ・特別講演及び展示ブースの内容のバランスが良い
- ・建設技術に関して興味をもてる内容が多くあった
- ・いろいろな会社を一度に見ることができてとても有意義な時間だった
- ・幅広い分野の職種・取組について説明を受けられた
- ・多方面の技術知識が学べる良い機会と感じた
- ・新しい技術を実際に使ってみようと思った
- ・学生も多く参加されていてにぎやかだった

【やや良い】

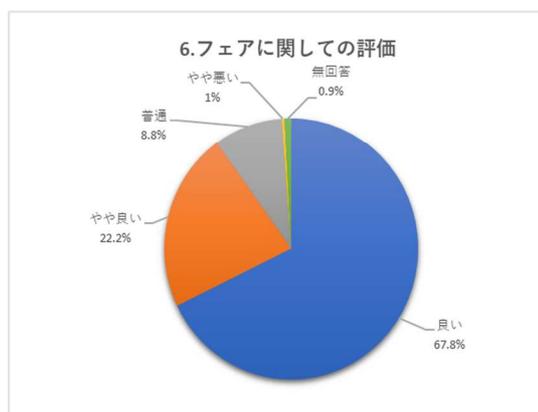
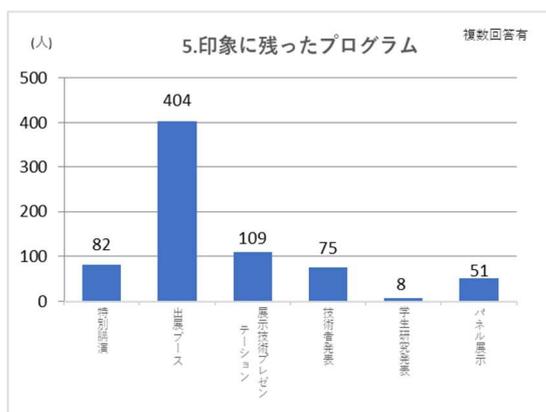
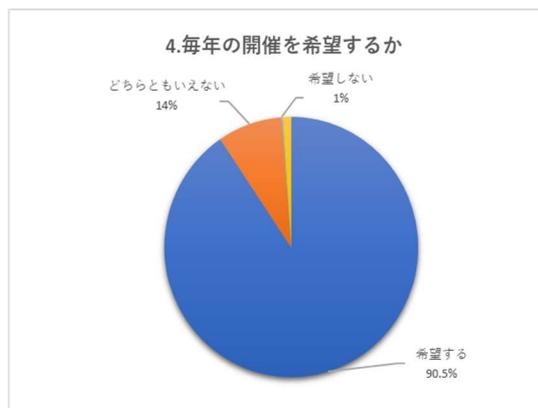
- ・県内の技術展示ブースの出展数をもっと増えれば良い
- ・特別講演が興味深かった

【普通】

- ・もう少しアピールしてもいいと思う
- ・去年とあまりかわりない所があった

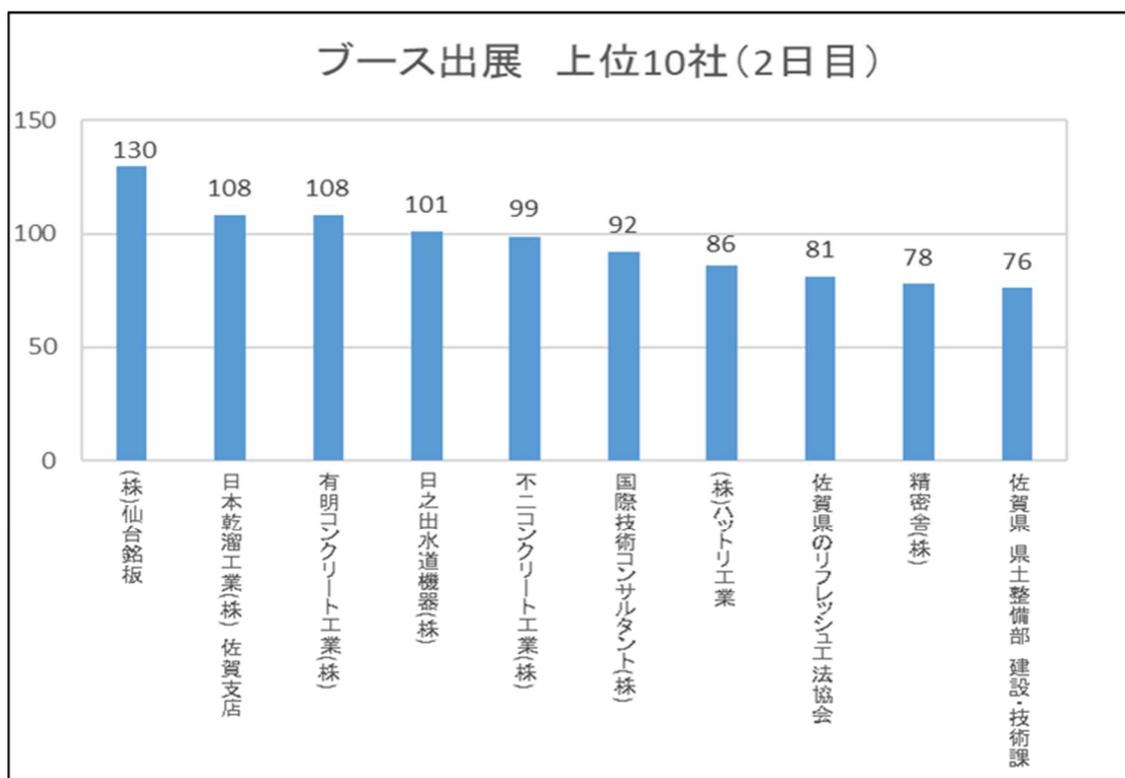
【やや悪い】

- ・スペースが狭い出展数が少ない
- ・規模が小さい



【出展ブース確認押印欄の上位 10 社（2 日目）】

アンケート用紙に設けた出展ブース確認押印欄を集計したところ、上位 10 社はグラフの通りであり、防災に関する技術の（株）仙台銘板が最も多く、次いで環境に関する技術の日本乾溜工業（株）佐賀支店となっています。



(3) 来場者からの自由意見（希望する出展テーマや要望など）

- ・積算システム、土木用語
- ・積算ソフト関係、ICT 関係、測量、橋梁関係
- ・各社の新技術を同時に学べて有益であり有難い
- ・舗装に関する技術（アスファルト、コンクリート舗装）
- ・技術者の人材確保について
- ・パソコン、AI 関係、写真技術関係
- ・3D、自動化技術、プレキャスト製品
- ・ICT や BIM/CIM の提案
- ・DX、再エネ
- ・橋梁補修工法、材料について
- ・地盤改良技術、仮設
- ・災害における新技術
- ・建設業の今後の未来
- ・FORUM8 みたいなソフト関係の出展
- ・上下水道技術についても増やして欲しい
- ・若い方が建設業に感心をもてるテーマ
- ・日々進歩している DX 関係は定期的に情報収集していきたい
- ・測量設計
- ・上下水道関連の DX 関連技術（管きょ、地盤、水路、GIS 等）
- ・CAD 技術関係、技術者の体験談
- ・調査ボーリングツール等
- ・水害対策、コンクリート
- ・体験型ブースを増やした方が良い
- ・大工などの技術を見てみたい
- ・建築分野の会社の参加を増やしてほしい
- ・ロボット
- ・カーボンニュートラル
- ・ため池改修関係
- ・土木や地盤だけでなく建築についての話を聞いてみたい
- ・橋梁補修、補強関係
- ・地中熱・熱エネルギー
- ・基礎工事関係
- ・舗装の環境に関する技術
- ・最新土木技術、トンネル等
- ・建設業の人材不足への対策について

- ・屋外でも機械を使うブースがあれば良い
- ・空調の技術をもっとみたい
- ・As 舗装関係の新技术
- ・今後の建設のあり方について
- ・砂防関連を増やして欲しい
- ・3DCAD や橋梁に関するブースを見たい
- ・測量作業の具体的なデモンストレーション（スマホ測量など）
- ・補修材料等のコンクリート関係
- ・新技术や開発中の技術についても聞いてみたい
- ・講演や発表をアーカイブで見れるとありがたい
- ・三次元測量（UAV、点群）、ドローン測量
- ・新技术、ICT に関わる講演
- ・活用事例を知りたい
- ・矢板引き抜き
- ・DX 関連、調査ボーリング関連
- ・ICT、AI・IOT に関する技術
- ・木造大工、木造住宅
- ・設計や災害対策等
- ・できれば建築設計についての展示や講演を見てみたい
- ・鉄道に関わる技術をもう少し見たい（土木的な分野で）
- ・VR などの映像技術や、AI などを使ったテーマ
- ・深層混合処理や土質改良について
- ・建築デザイン
- ・建築設計の分野
- ・防災、減災
- ・土木・建設の魅力を一般の人にも伝える催事にして欲しい

設問 7) 来場者数に満足したか

満足と回答したのは 73% でした。

設問 8) フェア後に来場者に PR したか

半数の出展者がフェア後に PR したようです。

PR した内容と相手は、以下の通りです。

- ・佐賀大生に対し、リクルート PR を行った
- ・自治体へ出展技術の詳しい説明を行った
- ・自治体、コンサル会社等を中心に再度商品 PR
- ・コンサル会社に挨拶営業を行った
- ・建設会社：製品説明や注文、代理店：協力理解活動、他県商社：協力理解活動
- ・自治体及び設計コンサルタントに工事に関する設計協力
- ・ブース来訪者へのお礼
- ・導入を検討の企業には、訪問で追加の製品紹介を実施
- ・名刺交換させていただいた方へ、製品の PR

設問 9) フェア後に来場者からの問合せはあったか

来場者から問合せがあったのは 38% でした。

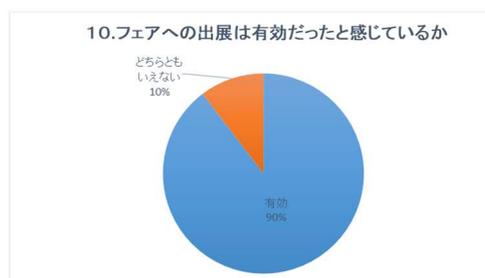
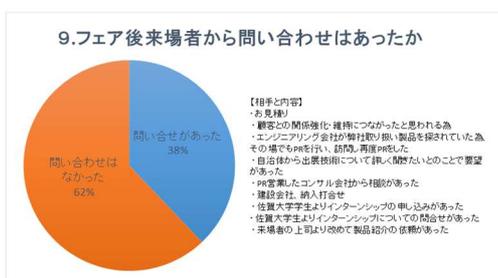
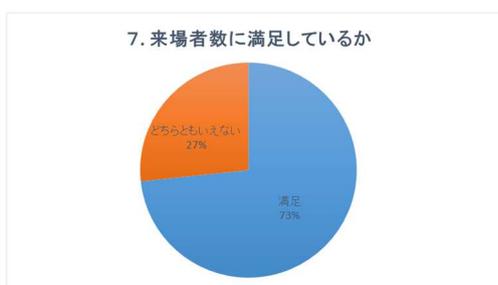
設問 10) フェアへの出展は有効だと感じたか

90% は出展が有効だったと感じているようです。

理由は、以下の通りです。

- ・佐賀県内では、建設関係者に自社の技術を PR できる唯一の機会であるため
- ・顧客との関係強化・維持につながったと思われるため
- ・佐賀県の建設会社様はもちろん県外の企業様への PR にもなったため
- ・企業の PR 含め、新技術の活用法について来場された方へ、少しばかりではありま
すが理解して頂くことができました。今回は技術発表を主体としたブース出展で
したが、次回は技術サービス等の案内もしていきたいと考えています
- ・来場者のほとんどが既存の顧客で、日頃の営業活動にて PR 活動を行っているため
既存顧客に対しては有効であったと言い難い。新規顧客に対しては有効であった
と思う
- ・多くの方にブースにお越しいただき、フェア会期後も出展技術の詳細な説明につい
て多くの要望をいただいたため
- ・商品及び企業 PR という点においては満足いく結果を得られなかったが、弊社の出
展の在り方に問題があることがよくわかったため
- ・佐賀県リサイクル製品（スラグ）と、リサイクル製品を骨材としたポーラスコンク
リート舗装（NETIS 登録製品）をセットで紹介し、特にスラグに興味を持っていた
いただいたことで、需要増加に期待ができる。普段訪問できていない見込み顧客へ、効
率的に製品紹介できることはありがたい

- ・弊社の社名では造船業のイメージが強くなるが、橋梁分野も行っていることを知ってもらえる良い機会になったため
- ・直接案件に繋がったこと。また、直ぐに出でこなくても今後につながってゆくと感じています
- ・当社の技術を紹介することができ、多くの学生にブースへ来場いただけたため
- ・認知度が向上し、注文も増えてきている
- ・多くの大学生に当社を紹介できました
- ・他社と交流が出来たおかげで、新たな事業への連携や、自社の活動だけでは知ることの無い様々な技術を学ぶことが出来た。また、学生とも交流ができ、色んな視点からの意見を取り入れることができたため。当社の魅力も伝えることが出来たと感じている
- ・佐賀大生とお会いして、弊社の会社説明をすることが出来ました
- ・来場者が多かった上、日頃接点が少ない九州地方の建設業関係者とお話することができたから。また、学生にもアピールできた
- ・発注者や同業他社、学生等様々な方に弊社の技術を知ってもらえたため
- ・予想以上に多くの企業様と接点を持つ機会となったため。また、佐賀県と周辺エリアの情報収集も行うことができたため
- ・これまで接点のなかった方とも名刺交換させていただき、製品をPRするきっかけとなった為非常に有効でした



設問 11) 配布したポスターやチラシは活用したか

ポスターやチラシを活用したのは 55%でした。

設問 12) 出展費用（ブース 70,000 円、技術発表 10,000 円）は妥当か

妥当と感じた出展者は 76%でした。

設問 13) 出展ブースの配置は適当か

8 割程度は適当だという結果になりました。

設問 14) フェアが掲げる目的は達成したと思うか

達成したとやや達成したという回答を合計すると 93%となりました。

設問 15) フェアの開催時期と開催時間は妥当か

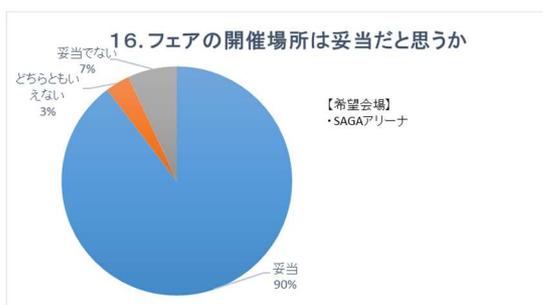
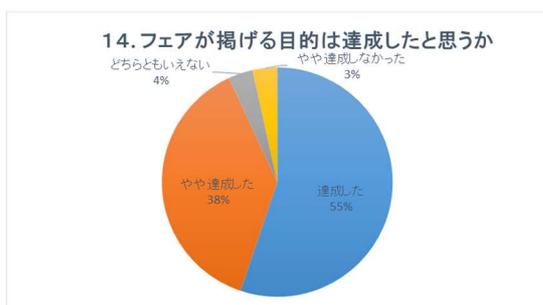
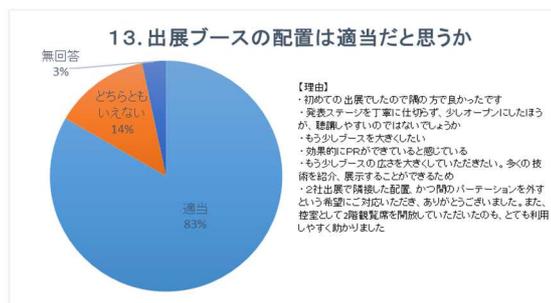
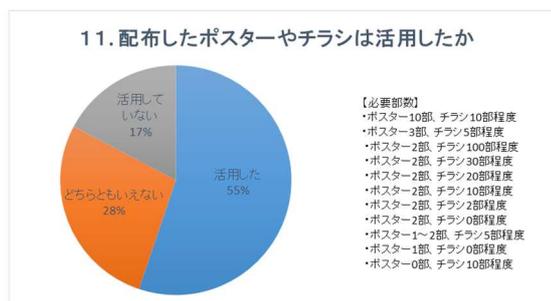
妥当という回答は 93%でした。

設問 16) フェアの開催場所は妥当か

妥当と感じた出展者は 90%でした。

設問 17) 毎年の開催を希望するか

希望すると回答した方が 97%でした。



【出展者からの自由意見】

- ・出展メーカーだけでなく、県内のコンサルの出展が（少ないので）増えれば良いと感じました。
- ・県外の自治体、企業への開催 PR も必要ではないかと思う。
- ・費用に関しますので、あくまでも参考としての意見ではありますが、主催者側にてスタンプリナー等を実施していただくことは可能でしょうか。学生向けのみでも構いません。各ブース印を貰って最後に簡単なアンケートを提出することで何らかの品を渡す…みたいな。ブースに立ち寄って頂く機会が増えれば、ことらとしても目的達成に近づくのではと考えます。
- ・このフェアは、建設業界や地元企業の人材不足を解消する、企業 PR 的な側面もあると思います。高等学校の訪問見学も、建築土木系だけではなく、普通高校などにも来場いただければ、大学や専門学校進学を選択肢も増え、卒業後の就職先として出展企業への興味ももっと湧くのではないのでしょうか。
- ・建設業界の高齢化が進んでいる。このフェアが学生に建設業界のことを知ってもらえる良いチャンスだと思うので、近県学生の来場数がより増えて欲しい。
- ・佐賀大学生の参加に注力いただいており、出展者として有り難く思います。他大学や官公庁ご担当者様の参加を期待しております。
- ・今年の出展で 3 回目となり建設会社の方からも声をかけてもらえるようになって、認知度も向上してきたと実感できるようになってきましたが、舗装関係の会社は少ない様に思われます。官庁の方々のブースの立ち寄りが少ないので、忙しいとは思いますが、官庁関係者の来場に期待したい。
- ・今後も開催していただき、当社の魅力、技術を PR 出来る場をいただきたいです。
- ・このようなフェアを通じて建設業の重要性を多くの人に理解していただき、これからの建設業の発展に繋がって行くことを期待します。
- ・もっと佐賀大生が訪問してくれることを願います。
- ・毎年開催していただければと思います。
- ・幅広く会社の技術を広めることを期待します。
- ・企業様との接点を持つ貴重な機会となりましたので、引き続き集客に期待しております。
- ・2 日目の技術者発表を拝見いたしましたが、11:15 からの建設業界の魅力、15:15 からの女性技術者の発表は、是非とも学生の皆様に見ていただくべき内容であったと思います。しかしながら、両時間共に学生の入場時間とタイミングがずれており、結局一人の学生も見学されませんでした。可能であれば、学生の入場時間と合わせて技術発表を開催していただくことはできないでしょうか。
- ・今後もよろしくお願ひ致します。
- ・開会直後の技術発表は人が集まりにくいので、出来れば 30 分程経ってから（60 分講演を短くするなどして時間調整して）始めると良いかと感じました。

- ・訪問者シート（連絡先が分かるシート）を作成、配布してほしい。
- ・大型製品（大型機材など）の展示ができるスペースがあればより良いと思う（屋外展示でも可）。（クレーン、ユニックでの設置・撤去になる場合もある）ブース広さについて、特に奥行きはもう少しあれば良いと思う。
- ・建設コンサルタント業者の主な顧客は国、県、自治体となります。上記官公庁の方々の来場が多くなる取り組みをお願いします。例えばシャトルバスをだすなど。
- ・毎年、CPDS 受講に必要なブース印だけを求めて立ち寄られる来訪者が多数おられます。弊社ブースは基本一人で運営しているといっても過言ではないブースのため、その対応に時間を取られて本来の目的機会を逸する場面もありました。無碍な対応もできないため、毎回頭を悩ませております。
- ・鉄筋、副産物であるスラグ路盤材、スラグ舗装材（ぱどれすロード）藻礁製品など事業のPRをさせていただきたいと思えます。佐賀の技術グループか、環境グループかは微妙です。
- ・壁掛けの転倒に不安があるため、ブースの仕切り板の重量アップをして欲しい。
- ・出展中の箱の置き場について毎回窮しております。他の展示会でも別途保管場所を確保いただくケースが増えていますので、ご検討いただければ幸いです。
- ・リクルート活動も行っており、リクルートをもっとアピールできるスペースがあっても良いような感じはします。（企業パンフレット置場・リクルートブースなど）
- ・初めて出展させていただきましたが、フェア後に問い合わせも有り、非常に有意義なフェア出展になりました。ぜひ来年以降もフェアの開催をお願いします。
- ・ありがとうございました。
- ・高校生の展示パネル（設計図等）など、とても興味深く拝見させていただきました。

6. まとめ

当機構は、地方公共団体の建設行政との連携・協働を図り、社会資本の整備及び公共施設の維持管理に関する各種の技術支援事業を通じて、県民の安全で安心な生活の実現に寄与することを目的としています。

当フェアは、公益目的事業の「技術力向上のための技術情報発信事業」における「建設技術情報啓発事業」に位置付けており、日々進化する建設技術の情報収集発信・利活用が必要不可欠であるという観点から建設技術の理解を深めるための取り組みの一環として実施しました。また、生徒・学生や若手技術者等のキャリアデザイン教育の一助になることも期待しています。

フェアの開催は、以下の3つを柱として、これらを通じて建設産業の発展に寄与することを目的としています。

- ・建設分野（土木・建築）の技術・工法・製品などについて産学官における技術情報の交流の場を提供すること
- ・建設分野の技術開発や新技術導入の促進を図ること
- ・多くの方々に建設業界の魅力や社会資本整備の必要性について理解を深めてもらうこと

コロナ禍で開催した際は来場制限や感染対策を徹底しての実施を余儀なくされ、来場者や出展者の皆様にご不便をおかけしましたが、昨年5月8日に新型コロナウイルスが感染症法上の位置付けが5類感染症に変更されたことや人流抑制も緩和されてきていることなどから、技術者同士が対面で交流できる場を提供することが有意義だと考え、昨年度から来場人数等の制限なく開催しています。

会場については、以前はガーデンテラス佐賀 ホテル&リゾートをお借りしていましたが、例年、出展ブースは定数以上のお申込みをいただいている状況でした。これらを踏まえ、規模の拡大を図ることで、より多くの方にご来場いただきたいとの想いから、昨年度からSAGAプラザ（総合体育館）に会場を変更し、ご好評をいただいています。

出展ブース数は、今回は昨年度と同数の59の企業・団体から出展いただきました。来場者数は2日間で延べ2,000名を超える方々に来場いただきました。

来場者ならびに出展者の皆様に対して実施しましたアンケート結果を見ますと、多くの方々にご満足いただいた一方、当日対応や出展内容などへのご意見・ご要望が多数あり、今後の開催にあたっての課題も明らかになりました。今後はそれらの課題を改善しながら、継続開催を希望する声も多かったことから充実したフェアとなるよう努めてまいります。

また、継続開催のためには、国や自治体、県内の建設業関連の団体・協会のご理解やご協力は必要不可欠で、佐賀大学や県内高校の学生・生徒が積極的に参加できるように連携していくことも重要と考えています。

最後に、当フェアを開催するにあたり多大なご協力をいただきましたご講演者の皆様、佐賀県をはじめとした共催者および後援の方々、ならびに関係各位に厚く御礼を申し上げますとともに、今後の継続開催へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（以上）